

授業きっかけに短歌の世界へ

京都造芸大の歌会、結成1年



今年8月、京都造形芸術大学の学生や卒業生でつくる短歌会「上終（かみはて）歌会」が結成から1年を迎えた。同会はこのほど活動が新聞に取り上げられたり、メンバーがラジオ番組に出演したりして注目を集めている。

結成のきっかけは授業で短歌を学んだこと。履修していた文芸表現学科の学生と卒業生、講師を務めた歌人の永田淳さんの10人で始めた。現在のメンバーは28人で、大半が大学入学後に短歌を詠み始めた初心者。月に1度開く歌会で1人2首まで短歌を持ち寄って、作者を伏せた状態でそれぞれの作品を批評し合う。

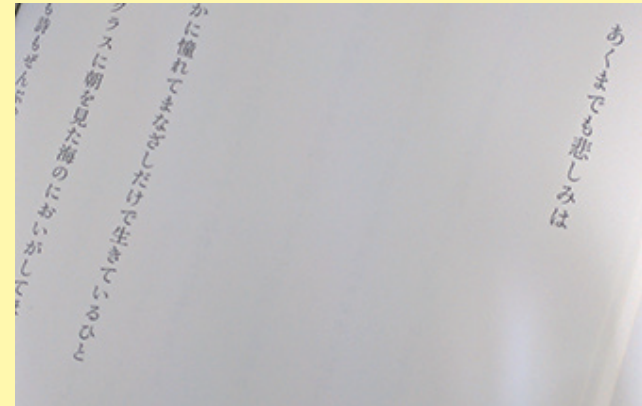
今年には結成1周年に合わせて、メンバーの作品を紹介する初の会誌（85頁）を400部発行した。表紙のデザインは同大OGで歌会代表の山内優花さん（24）が友人に依頼、学科の事務室が装丁した。

「煙草とか刺青とかに憧

上終歌会が初めて作った会誌。表紙は山内優花さんの友人がデザインした。（撮影＝山中秀祐）



会誌に載る山内優花さんの作品（撮影＝山中秀祐）



れてまなざしだけで生きているひと」「逆さまのスーフアミの上、冬休み。指貫は何処にしまっただろう」「貸本屋 魚座の星の住人が空とか花の本をすすめる」

五・七・五・七・七のリズムに合わせて日常を詠んだ作品が並ぶ。山内さんは短歌の魅力を「これだけの短さで多くのことを伝えられる新鮮さ」と話す。会誌は1冊千円。同大人間館4階の文芸表現学科研究室で購入できる。

10月の歌会は26日午後6時から文芸表現学科研究室で。他大の学生や社会人も参加を呼び掛けている。連絡は上終歌会のツイッター（@kamihatetanka）まで。

（聞き手＝山中秀祐）

配信・発行

UNN関西学生報道連盟

共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-2-24 ダイニホンビル4階

電話 06 (6307) 1315 FAX 06 (6829) 6353

メール info@unn-news.com ウェブサイト http://www.unn-news.com/

週刊FOCUSは毎週月曜日発行です

UNN関西学生報道連盟は

京都大学CLOCK編集部

大阪大学POST通信社

神戸大学ニュースネット委員会

関西大学タイムス編集部

関学新月通信社

同志社大学PRESS編集部

NEWS立命通信社

京都女子大学藤花通信編集部

神戸女学院大学K.C.Press編集部

の9団体でつくる学生報道団体です

週刊イマドキ学生新聞

FOCUS
あなたの世界が、ちょっと広がる。

vol.377.2017.10.16